

＜令和5年度 救急救命士学科 シラバス＞

科目名	微生物学	学年	1年生
講師名	三瓶 泰子	単位数	1 (15時間)
評価方法	終講試験(国家試験形式)		
使用機材	救急救命士標準テキスト(へるす出版)、プリント、黒板		
教科 目 標	炎症と感染の説明、炎症の定義・原因、感染症の原因と感染経路が説明できる。		
	感染経路別の感染予防法、標準予防策、消毒、事故後の対応、法律指定の対応を説明できる。		
	予防接種、感染症の一般的症候、感染症の疫学・症候・特徴的疾患・予後について説明できる。		
講 義 内 容	1	炎症	
	2	感染症	
	3	感染予防と感染防御	
	4	救急活動での感染防御	
	5	洗浄と消毒	
	6	感染事故と事故後の対応	
	7	感染症総論	
	8	その他の感染症	
到 達 度 の 把 握	授業の中で、前回の復習等を口頭質問やグループワークで確認する。		
そ の 他	【担当教員の実務経験等】		
	豊富な臨床経験をもとに、微生物の基礎知識、救急・医療現場の感染対策について		
	講義を展開する。		

＜令和5年度 救急救命士学科 シラバス＞

科目名	看護学概論	学年	1年生
講師名	三瓶 泰子	単位数	1 (15時間)
評価方法	終講試験(国家試験形式)		
使用機材	救急救命士標準テキスト(へるす出版)、プリント、黒板		
教科 目 標	医療における看護の位置づけと役割、在宅療法の概念、種類、対応について説明できる。		
	傷病者とのコミュニケーションの技法、医療機関とのコミュニケーションの要点を説明できる。		
	事故の発生におけるヒューマンエラー、インシデント・アクシデントのハインリッヒの法則を説明できる。		
講 義 内 容	1	接遇とコミュニケーションの種類	
	2	対象に応じたコミュニケーション、救急活動でのインフォームドコンセント	
	3	安全管理と事故対応	
	4	感染予防	
	5	在宅療法とは、在宅療法への対応(HOT, 在宅人工呼吸、気管切開)	
	6	在宅療法への対応(植え込み型ペースメーカー、経管栄養、IHV)	
	7	在宅療法への対応(血液透析、腹膜透析、尿道カテーテル、人工肛門)	
	8	講義の復習、国家試験の過去問解説、終講試験について	
到 達 度 の 把 握	授業の中で、前回の復習等を口頭質問やグループワークで確認する。		
そ の 他	【担当教員の実務経験等】		
	豊富な臨床経験をもとに、看護概論、そして医療従事者としての接遇などについて		
	講義を展開する。		

＜令和5年度 救急救命士学科 シラバス＞

科目名	法医学	学年	1年生
講師名	山口 智佳	単位数	1 (15時間)
評価方法	終講試験(国家試験形式)		
使用機材	救急救命士標準テキスト(へるす出版)、身近な法医学(南山堂、塩野寛、清水恵子 著)		
教科 目 標	法医学の知識、異常死体の検案・解剖、死体の尊厳、適切な法的処置を理解する。		
講 義 内 容	1	法医学の役割	
	2	死亡診断書	
	3	死体现象のみかた	
	4	自為か他為か、死因の決定	
	5	日常生活に密着した外因死と内因死	
	6	中毒	
	7	個人識別、親子識別	
	8	医師と法律、最近注目されている医療行為	
到 達 度 の 把 握	授業の中で、前回の復習等を口頭質問やグループワークで確認する。		
そ の 他	【担当教員の実務経験等】		
	法医学者として北海道の法医学を支えてきた豊富な経験をもとに、救急現場での死体现象の観察だけでなく、死者の尊厳や背景にある社会的問題などについて講義を展開する。		

＜令和5年度 救急救命士学科 シラバス＞

科目名	患者搬送	学年	1年生
講師名	中田 敏宏	単位数	1 (15時間)
評価方法	終講試験(国家試験形式)		
使用機材	救急救命士標準テキスト(へるす出版)、プリント、黒板		
教科 目 標	通信指令室の役割、口頭指導の概念・方法、活動記録、他機関との連携について説明できる。		
	病院前救護の役割、概要、救急救命士の医療関係職種としての責任を説明できる。		
	出勤～現場の流れ、状況・初期評価、現場～救急自動車収容・医療機関収容の搬送方法を理解する		
講 義 内 容	1	消防機関における救急活動の流れ	
	2	救急救命士の役割と責任	
	3	現場活動の基本	
	4	搬送総論	
	5	搬送方法	
	6	器具を用いた搬送	
	7	搬送手順	
	8	ヘリコプターへの傷病者の搬入と搬出、事故車両からの救出方法	
到 達 度 の 把 握	授業の中で、前回の復習等を口頭質問やグループワークで確認する。		
そ の 他	【担当教員の実務経験等】		
	救急隊員・救急救命士としての豊富な現場経験をもとに、消防機関での救急活動を中心に、 様々な活動・搬送等を学ぶ。		

＜令和5年度 救急救命士学科 シラバス＞

科目名	処置論 I	開講学年	1年
講師名	中田敏宏・池田淳也・工藤朝生・境純平	単位数	6 (90時間)
評価方法	筆記試験(各講師割り当て講義終了後に全範囲分実施)		
使用機材	プロジェクター・パソコン・その他(基本的に資料配布・板書)、 ほぼ毎回・時々		
教科 目標	救急現場での使用資機材の基本操作・使用方法を理解する。		
	資機材の使用方法から現場での対応能力を向上させることができる。		
	誤った使用方法による傷病者への侵襲を理解し現場での事故防止策を各自で練ることができる。		
講 義 内 容	1	パルスオキシメータ	
	2 ~ 3	カプノメータ	
	4	聴診器	
	5	血圧計	
	6 ~ 7	心電図モニター	
	8	体温計	
	9 ~ 10	気道確保	
	11 ~ 12	気道異物除去	
	13	口腔内の吸引	
	14 ~ 15	声門上気道デバイスを用いた気道確保	
	16 ~ 18	気管挿管	
	19	気管吸引	
	20 ~ 21	酸素投与	
	22 ~ 23	人工呼吸	
	24 ~ 25	胸骨圧迫	
	26	自動式心マッサージ器の使用	
	27 ~ 28	除細動	
	29 ~ 30	静脈路確保と輸液	
	31 ~ 32	アドレナリン投与	
	33	自己注射用アドレナリンの投与	
	34 ~ 35	体位管理	
	36	体温管理	
	37 ~ 38	止血	
39 ~ 40	創傷処置		
41 ~ 43	固定		
44 ~ 45	産婦人科領域の処置		
到達度の把握	毎回の講義の最初に前回の講義内容のおさらい(学生に答えてもらう)		
その他	【担当教員の実務経験等】 救急隊員・救急救命士としての豊富な経験をもとに、救急救命処置の基礎から実践的知識について講義を展開する。		

＜令和5年度 救急救命士学科 シラバス＞

科目名	救急・災害医療	学年	1年生
講師名	青野 允	単位数	1 (15時間)
評価方法	終講試験(国家試験形式)		
使用機材	救急救命士標準テキスト(へるす出版)、プロジェクター、黒板		
教科 目 標	わが国における救急自動車による救急搬送の現状、概要の理解。		
	救急医療機関の役割と要件の理解。		
	災害の定義、分類の理解。		
講 義 内 容	1	救急医療体制(病院前医療)	
	2	救急医療体制(救急医療システム、救急医療情報)	
	3	災害医療体制(トリアージ、)	
	4	災害医療体制(大規模災害、特殊災害)	
	5	病院前医療体制(救命の連鎖、市民による一次救命処置)	
	6	病院前医療体制(市民教育、メディカルコントロール)	
	7	救急救命士に関する法令	
	8	救急救命士の養成と生涯教育	
	到 達 度 の 把 握	授業の中で、前回の復習等を口頭質問やグループワークで確認する。	
そ の 他	【担当教員の実務経験等】		
	日本の救急・災害医療を支えてきた医師による講義。豊富な臨床経験・研究にもとづき、		
	我が国の救急・災害医療の変遷、現状、課題について幅広く講義を展開する。		

＜令和5年度 救急救命士学科 シラバス＞

科目名	ショック・循環不全	学年	2年生
講師名	境・井手	単位数	2 (30時間)
評価方法	終講試験(国家試験形式)		
使用機材	PC		
教 科 目 標	生命維持に重要な「ショック・循環不全」に対し、分類とその判断方法を知る。		
	ショックに伴い起こる生体反応、特に体液の移動による補整を理解する。		
	血圧低下に対し交感神経およびカテコラミンの働きを理解する。		
講 義 内 容	1	総論～定義と概念、種類と分類	
	2	総論～病態、ショックの判断	
	3	総論～各種ショックの判別、緊急度・重症度の判断、各種ショックの共通の観察と処	
	4	循環血液量減少性ショック～発生機序、循環動態の変化、生体反応、体液変動	
	5	循環血液量減少性ショック～原因疾患、症候、現場活動、輸液	
	6	心原性ショック～原因疾患と発生機序、循環動態	
	7	心原性ショック～症候、現場活動	
	8	心外閉塞・拘束性ショック～原因疾患と発生機序	
	9	心外閉塞・拘束性ショック～症候	
	10	心外閉塞・拘束性ショック～現場活動、輸液	
	11	血液分布異常性ショック～種類と発生機序	
	12	血液分布異常性ショック～症候	
	13	外傷の病態生理 侵襲への反応 循環動態、炎症性メディエータ	
	14	外傷の病態生理 侵襲への反応 代償反応の破綻 急性期後の障害	
	15	外傷の病態生理 外傷に伴うショック 出血性ショック 非出血性ショック	
到 達 度 の 把 握	通常の授業において学生の到達度、理解度の確認などをどのように行う予定ですか？		
	可能な範囲で具体的にご記入ください。		
	授業の中で、前回の復習等を口頭質問やグループワークで確認する。		
そ の 他	事前もしくは授業の中で配布資料あり。		
	【担当教員の実務経験等】		
	救急隊員・救急救命士としての豊富な現場経験等をもとに、横断的な知識の必要な ショックの理解について講義を展開する。		

＜令和5年度 救急救命士学科 シラバス＞

科目名	顔面外傷	学年	3年生
講師名	井手 生郎	単位数	1 (15時間)
評価方法	終講試験		
使用機材	PC 資料		
教科 目 標	顔面の解剖生理、外傷の特徴、救急処置法などを中心に学ぶ。		
講 義 内 容	1	顔面の解剖生理。	
	2	顔面損傷、吹き抜け骨折。	
	3	頸部損傷、軟部組織損傷。	
	4	口腔内・気道損傷。	
	5	症状と処置。	
	6	判断と処置、搬送。	
	7	気道異物。	
	8	消化管異物。	
	到 達 度 の 把 握	講義中の口頭質問、過去問題等による確認。	
そ の 他	【担当教員の実務経験等】		
	救急隊員・救急救命士としての豊富な経験をもとに、基礎から現場対応までの実践的な講義を展開する。		

＜令和5年度 救急救命士学科 シラバス＞

科目名	処置論Ⅱ	学年	3年生
講師名	工藤 朝生	単位数	1 (15時間)
評価方法	終講試験		
使用機材	【毎回】 パソコン 資料配布		
教科 目 標	平成26年4月に救急救命処置に追加された「心肺停止前の静脈路確保と輸液、血糖測定とブドウ糖投与」の理論を学ぶとともに、今後予想される課題を含めた対応についての実践的な知識を検討する		
講 義 内 容	1	意識障害の鑑別(1)	
	2	意識障害の鑑別(2)	
	3	意識障害の鑑別(3)	
	4	ブドウ糖投与	
	5	血糖測定とブドウ糖投与のプロトコール	
	6	薬剤投与プロトコール	
	7	静脈路確保の実際	
	8	拡大処置の実際と今後の課題	
	到 達 度 の 把 握	授業中の口頭試問	
そ の 他	【担当教員の実務経験等】		
	救急隊員・救急救命士としての豊富な現場経験に基づき、理論・実践的知識、さらには		
	国家試験対策に至るまでの講義を展開する。		

＜令和5年度 救急救命士学科 シラバス＞

科目名	精神障害	学年	3年生
講師名	三瓶 泰子	単位数	1 (15時間)
評価方法	終講試験		
使用機材	PC 資料		
教科 目 標	精神障害の特殊性の救急搬送時の留意点などを中心に学ぶ。		
講 義 内 容	1	精神障害・精神病の定義。	
	2	内因性・外因性精神障害。	
	3	心因性精神障害、精神症状。	
	4	救急活動、搬送の原則。	
	5	自殺企図、昏迷・混迷・興奮への対応。	
	6	病院選定と入院形式。	
	7	悪性症候群、統合失調症。	
	8	躁鬱病、心因反応、その他の精神障害。	
到 達 度 の 把 握	講義中の口頭質問、過去問題等による確認。		
そ の 他	【担当教員の実務経験等】		
	豊富な臨床経験をもとに、年々、増加・変化していく精神障害分野について、 理解するとともに、救急現場での対応について講義を展開する。		

＜令和5年度 救急救命士学科 シラバス＞

科目名	熱傷・電撃傷	学年	3年生
講師名	池田 淳也	単位数	1 (15時間)
評価方法	終講試験		
使用機材	PC		
教科 目 標	熱傷・電撃傷の病態生理と救急処置法を中心に学ぶ。		
講 義 内 容	1	皮膚組織の構造。	
	2	熱傷の種類。	
	3	重症度分類、簡易識別法。	
	4	熱傷面積の算定。	
	5	気道熱傷と一酸化炭素中毒。	
	6	救急処置、冷却、その他。	
	7	電撃、アーク放電、火焰、雷撃。	
	8	搬送時の留意点。まとめ。	
	到 達 度 の 把 握	講義中の口頭質問、過去問題等による確認。	
そ の 他	【担当教員の実務経験等】		
	救急隊員・救急救命士としての豊富な現場経験をもとに、熱傷・電撃傷についての知識・現場対応・医療機関での治療について講義を展開する。		

